



『We ❤ 鏡中』

令和7年 12月2日

☆彡鏡中前道路（通称：スマイルロード）の植え込み管理作業

11/25 にお知らせして、11/30（日）に実施した「鏡中前道路（通称：スマイルロード）の植え込み管理作業」が終了しました。

鏡中生徒が約60名、職員・保護者の皆様・地域の皆様が約30名、合計90名を超える人がボランティアで集まってくださいました。人数が多くなったことで、約1時間の作業で終えることができました。鏡区長の志渡澤様から最初に、集まってくれたお礼と安全な作業についてご挨拶してもらい、最後に県会議員の木村様から、この作業に至る経緯等およびご参加のお礼等についてご挨拶いただきました。本当にありがとうございました。



◀ 剪定前
つづじが
大きくなりすぎて見通しが
悪かったです。
作業中
切った枝を袋
に入れています。



◀ 12/1（月）のスマイルロードの様子
歩道が広がり小学生が元気に登校していました。

見通しもよくなり、中学校に出入りする車両からも、歩道を歩く歩行者が良く見えるようになりました。

門扉前の横断歩道を渡る歩行者も、車道を走る車両が一目で確認できるようになりました。

道路の脇の側溝付近の溜まった土も処分してもらったおかげで、雨天時に溜まっていた道路の冠水も軽減されるのではないかと期待しています。梅雨時には、車両がはね上げた水が歩道を歩く小中学生にかかるっていましたが、それも解消するのではと期待しています。



☆ ③ 今回の管理作業のボランティア活動を通して考える

私自身は、ボランティア活動について、好きか嫌いかと問われれば、どちらかといえば好きと答えると思います。虹の松原や海岸清掃などのボランティア活動などは以前からやっていましたが、令和5年7月九州北部豪雨災害（浜玉町平原今坂で発生した土石流災害や七山地区での土石流災害）の災害復旧ボランティアに行ってからは、「人のため」「〇〇のため」と思って行っていましたが、ボランティア活動が、「自分の成長」「自分の視野を広げる」などの「自分のため」に大きな役割を果たしていることを実感するようになりました。また、ボランティア活動中や活動後のすがすがしい気持ちや充実感は、体験しないとわからないと改めて感じています。

今回、スマイルロードでのボランティア活動に約60名の鏡中生徒が参加してくれました。参加してくれた生徒が、「〇〇のため」という気持ちから、すがすがしい気持ちや充実感を味わい、「自分のため」になったと感じてくれていたら何よりだと思っています。

4/18に出した学校だよりに『昨今ではボランティア活動を入試の時に評価する学校も増えました。～人間は、行動を起こすモチベーションとして、お金、楽しい、褒められる（評価される）など、自分の利益になることがあるから行動を起こします。～この頃は、ボランティアを評価してもらえるからボランティア活動をするという人もいますが、それでも、行動を起こさないより行動を起こした方が社会の為になると思います。鏡中生には、～積極的にボランティア活動をしてほしい～やっていくと「人の為と思っていたボランティア活動が、自分自身の人生を楽しく充実させるものにするということ」を実感できるようになる。それを実感出来たら、面接等でも自信をもってボランティア活動から何を学んだかを語ることができます。』などと書きました。

今回の作業前にも、『R10年度入試（現在の中1が受検する県立入試）の改革案が発表されました。そこでも、学力検査（国数英）+作文や口頭試問やプレゼン等による自己表現が導入されるようです。表面的なプレゼンの能力などは、後からでも身に着けることができます。課題は何をプレゼンするかという中身があるかどうかです。今回のようなボランティア活動に自ら参加すること、そして、そこで何を感じ、何を学ぶかが非常に大切だと思っています。参加してくれた多くの中学生の皆さんには、活動を通して、何を感じ、何を学んだかを大切にしてほしいと思っています。それが現中1の県立高校入試だけでなく、中2、中3の皆さん（唐津西高）の入試やコース制、大学入試や就職試験等でも生きてくると考えています。』などと話しました。（もう少し簡略化したり、反復したりして話したかもしれません…）

今回のボランティア活動に参加してくれた生徒の皆さんは、何を感じ、何を学んだでしょうか？「地域の環境を良くするために自分がかかわることの大切さ」「地域の人々との交流や地域一体になって活動することの大切さ」「活動後のすがすがしさ」「多くの人が集まって協力して行う活動のすごさ」「地域の課題に気づいた」「自分にできることは何かを考えるきっかけになった」等々、学んだことは千差万別だと思います。次のボランティア活動でも同じように感じるかもしれませんし、別の学びが得られるかもしれません。そして、その学んだことを自分なりに深く考察することです。そうすることで、「自主性」「主体性」「社会性」「連帯性」「創造性」等々が本当に身につくのだと思います。ある高校の校長先生と話していて、『本校の課題に気づいて、そのことを多くの人を巻き込んで改善してくれるような、学校を良い方向に変えてくれる生徒に来てほしい』と言われていました。そんな生徒なら、どの集団に行っても最高の人財ですが、私は、ボランティア活動を通して学べるのではないかと思っています。生徒の皆さん、頑張りましょう。私も皆さんに負けないように「We Love ♡ 鏡中」を実現できるように頑張ります。